



●本日の司会 (曳地 義正副SAA)



●開会点鐘 (佐々木 稔郎会長)

●ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱



●本日のお客様

地区米山選考委員会 副委員長 柳 賢司様
2750 地区米山学友会 会長 陳 瑤様

●会務報告 (佐々木 稔郎会長)



今日は、30 周年記念事業につきまして、ご報告いたします。先日、「みやぎっ子」へ行きまして第 1 弾が終わりましたが、第 2 弾として岩泉へ明日 18 日に、11 名で行ってまいります。メンバーは、西野さん、佐藤さん、下田安治さん、本田さん、鈴木栄さん、田畑さん、

志賀さん、岩本さん、柴田さんと会長、幹事です。小本小中学校、役場を訪問いたしまして、寄付金 40 万円を贈呈いたします。

それから、25 日に第 8 回の子ども食堂を開催いたします。これまで、当クラブから 10 名以上の方にお手伝いをいただき、大変子供達も喜んでおります。

来週の週末にかけて、9 名ほどタイへ行っていただき、車椅子の贈呈式と子供達に学用品を贈ります。

30 周年をより良くしようと、色々と案を練っておりますので、皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

●幹事報告 (岡野 景子幹事)



10 月 13 日(土) 東中神にて、第 2 回親睦委員会炉辺会議が行われました。

地区より「姉妹地区国際ロータリー第 3650 地区・地区大会のお知らせ」が届いております。

日時 2018 年 12 月 6 日(木)～12 月 7 日(金)、場所 グランド

ハイアットソウルホテル

本日の例会終了後、理事会を開催いたしますので、理事の方々はご出席をお願いいたします。

●卓話 (2750 地区米山学友会 会長 陳 瑤様)

講師紹介

(地区米山選考委員会 副委員長 柳 賢司様)



皆様、こんばんは。本日の講師は米山奨学生ではなく、奨学期間を終えて、学友会に入った学友生です。私も彼とは 3 回くらいしかお会いしたことがないのですが、中国出身で、通称名がマリオです。それでは、よろしく願いいたします。

卓話



本日は、貴重な時間を私のために使わせていただきありがとうございます。私が来日したのは、2008 年の 10 月です。大阪の外語専門学校で日本語を学びました。そちらを修了してから大学、大学院博士 1 年生で辞めて、現在商社に勤めています。私の出身は中国

の西安(長安)です。面積は 1 万平方メートル、人口は約 961 万人です。GDP は 1 人あたり 7 万人民元です。教育で言いますと、大学の 1 番トップ是北京です。次が西安です。日本との姉妹都市は、京都と奈良で古い町です。西安の地図をご覧になると分かりますが、日本の京都に似ています。1300 年くらい前、唐の時代に、西安を模して京都が造られました。西安は秦の始皇帝の兵馬俑が有名です。各国の大統領達が西安を訪れることが結構あります。それから、青龍寺は弘法大師空海にゆかりのある寺です。中国は仏教が多いので、皆、空海さんのことは知って

いて、尊敬しています。

私がなぜ日本に来たのかと言いますと、まず初めは単純な思いです。幼い頃は、日本のアニメーションがないとられないくらい、大好きでした。高校まで観ていました。大きな影響を受けました。ドラえもののシーンに日本の町などが出てくるのですが、本当にこんなに綺麗なのが不思議に思っていました。1度行ってみたいと思いました。

二つ目は、社会ボランティア活動です。私が中学2年生の時に、貧しい町へ自分の使わない本や服を寄付しました。そこで目にしたのは、とても違う世界でショックを受けました。まずは、道が舗装されていないので、バスで目的地までなかなか辿り着けません。皆、学校へ行くのが朝の3時くらいです。2時間くらいかけて学校へ行きます。豚などの家畜を飼っている家があるのですが、非常に簡易的な豚小屋がありまして、子供がその上に行き、エサを買うお金がないので、人間の排泄物を与えていました。1番ショックを受けたことは、そのような場所から子供が落ちて大変なことになったという事故を聞いたときです。そこから中国経済の貧富の格差について、非常に興味を持ちました。高校になると、日本も含めた世界史を勉強しますが、日本は、戦後何も無いところから一気に先進国の仲間入りをするけれども、貧富の格差が少ないということと知られています。

高校の時に会った日本人の先生が「日本人のガム事件」に繋がります。その日本人の先生と町で観光をした時に、中国ではガムはポイ捨てるのが当たり前だったのですが、その日本人の先生はガムの容器に入っている紙を出して包んで家に持ち帰りました。私は、ゴミを家に持ち帰るということに、とても驚きました。そのような考えは全くなかったもので、この人は大丈夫なのかとも思いました。その後、ガムを製造する会社が、環境のことを考えて、捨てる紙のことまで考えているのはすごいなあと思うようになり、日本に行ってみようと思いました。

高校を卒業して、日本へ行くことが出来ました。大阪の専門学校で1年間、日本語を学びました。日本語の試験があるのですが、1級に合格しないと日本の良い大学には入れません。小さな寮に住みながら、掛け持ちでアルバイトをして、学業を頑張りました。

私は、貧富の格差について学びたかったので、国際機関に入れば1番ベストだということで、その為にどの大学に入ったら良いのかアドバイスをもらい、立命館大学を受験して、合格しました。しかし、学費を聞いてあまりに高額で驚きました。他を探して、三重県の四日市大学に進学しました。面接の時に、はっきりと、勉強のために時間を使いたいの、奨学金をいただかない限りは厳しい旨を話しました。初めは、奨学金を月48,000円いただけることになりました。学費も減免していただきました。半年間減免で、その後は自分の成績次第です。これではまずいで気が付いて、2年生の初めに違う奨学金に挑戦していただけたことになり、アルバイトをやめ勉強に専念しました。ロータリーの奨学金は2年生の時に挑戦して、3年生からいただきました。ロータリーの奨学金は1番大きいので、誰でも欲しいものです。まずは、成績がトップ3に入らなければ除外されてしまいます。それから面接が2回あります。1番忘れられないのは、面接の時に円卓で10人くらいに囲まれて、本当に緊張しました。無事にいただけることになり、それから生活が変わりました。金額が大きいので、学業に専念できるのです。卒業論文は貧富の格差について書きました。

次は、どこへ行くのか、先生やロータリーの方に相談をして、東京外国語大学に進学しました。BOPビジネスという貧富の格差を研究をして、無事に卒業出来ました。

謝辞（若杉 司会長エレクト）



2750 地区米山学友会会長陳瑶さん、今日は貴重なお話をありがとうございました。卓話で仰っていた、中学性の時の社会ボランティアで、貧困格差が目には焼き付いているということでしたので、それを忘れずに貧困を無くすよう、中国と日本の関係を持ちながら、頑張ってください。

ニコニコBOX発表（山中 秀一親睦委員）



◎渡邊会員
陳さん、今日は卓話ありがとうございました。

○佐々木会長
米山選考委員会副委員長 柳様、2750 地区米山学友会会長 陳瑶様、卓話ありがとうございました。大変勉強になりました。

・岡野幹事
2750 地区米山学友会会長 陳瑶様、卓話ありがとうございました。

・成田会員
陳瑶様、卓話ありがとうございました。

出席報告（志賀 義任出席委員長）



会員数	48名
出席義務会員	46名
本日の出席	26名

（メイクによる出席者数を除く）

次週例会予定（犀川 美佐緒プログラム委員）



10月24日（水）18：30～
クラブ協議会「増強について」
新会員歓迎会&1400回記念例会

閉会点鐘（佐々木 稔郎会長）